ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
EU41C103	子ども支援の理論と実践(Theory and Practice of Student Support)	高度専門科目	

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員
選択	2	1	教育学研究科	前期	月4	氏名　内田 昭利，藤村 晃成，後藤　竜太 E-mail　k-fujimura@oita-u.ac.jp　内線　7545

授業の概要	学校カウンセリング・コンサルテーションに関する理解を深め、課題を発見し、具体的な対応を立案・検討する力を養う。 子どもの心理的問題や不登校、カウンセリングマインドを活かした子どもとの関係づくりについての理論を学ぶとともに、学校現場の事例を題材とした演習に取り組むことで、現状の課題を発見し、具体的な対応策を立案・検討する能力を養う。また、学校におけるカウンセリングや専門機関・専門家・家庭との連携、チーム援助などに関する最新の理論を習得し、演習を通した双方向的な学習によって実践的な力量を構築する。

具体的な到達目標		DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	子どもの心理的問題や不登校に関する実践的知識について深く理解できる。				○							
目標2	不登校等の学校現場事例から現状の課題を発見し、具体的な対応策を立案検討できる。				○							
目標3	カウンセリングマインドを活かした関係づくりの実践的知識について深く理解できる。				○							
目標4	子どもの関係づくり等の学校現場事例から現状の課題を発見し、対応策を立案検討できる。				○							
目標5	専門機関等との連携や活用、チーム援助に関する実践的知識について深く理解できる。				○							
目標6	専門機関等との連携事例から現状の課題を発見し、具体的な対応策を立案検討できる。				○							
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												

授業の内容

1	授業テーマに関する学校の具体的課題の理解
2	子どもの個別理解に関する講義－学習・認知的な能力の理解
3	子どもの個別理解に関する講義－情緒・社会的な特性の理解
4	学校教育相談の基本事項に関する講義
5	子どもの心理的な課題と支援に関する講義
6	専門機関との連携に関する対応事例の分析
7	ＳＣ・ＳＳＷと連携した対策に関する講義
8	不登校の現状と課題に関する講義
9	不登校児童生徒への問題事例の検討
10	不登校対策としてのオルタナティブスクールの利用に関する現状
11	家庭との連携、保護者対応に関する対応策の検討
12	メンタルヘルスへの問題事例の検討
13	組織的対応に対する問題事例の検討
14	チームで問題解決する対応策の検討
15	学習成果の発表と総括

アクティブラーニング			その他の工夫
A:知識の定着・確認	○	プレゼンテーション，ディスカッション，バズセッション	
B:意見の表現・交換	○		
C:応用志向			
D:知識の活用・創造			

時間外学修の内容と時間の目安		
	準備学修	プレゼン準備（10ｈ）
	事後学修	文献，インターネット等を用いた事例研究（10ｈ）

教科書	・小学校学習指導要領、平成２９年３月告示、文部科学省、ISBN:4491034605 ・中学校学習指導要領、平成２９年３月告示、文部科学省、ISBN:4827815798 ・高等学校学習指導要領、平成３０年３月告示、文部科学省、ISBN:4827815674
参考書	授業中に指示する。

成績評価の方法及び評価割合

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
複数教員による多面的・総合的評価(受講態度、課題・討論の取組など)	70%	○	○	○	○	○	○				
最終レポート(本授業において学んだ事や今後解決すべき課題など)	30%	○	○	○	○	○	○				

注意事項	
備考	
リンク	URL

担当教員の実務経験の有無	○
教員の実務経験	内田昭利（小，中，盲学校）/後藤竜太（小学校，教育委員会事務局）
実務経験をいかした教育内容	小，中，盲学校教諭や学校カウンセリング等の実務経験に基づく子ども理解の指導を行う